

2026年 第73回 応用物理学会 春季学術講演会シンポジウム
2026年3月16日(月)13:30～18:30
ハイブリッド開催
(東京科学大学 大岡山キャンパス & オンライン)

磁気科学と医工融合が拓く 次世代バイオメディカル

応用物理学の視点から、磁場と医療の融合研究に関して、超伝導線材やMRI装置などの「磁場を作る」領域から、バイオセンシング・診断・治療などの「磁場を使う」領域まで、それぞれの研究分野の第一線でご活躍の皆様にご講演いただきます。是非、ご参加いただき、異分野融合研究開拓のきっかけとなることを期待しております。

招待講演者 及び 講演タイトル(タイトルは予定)

- ・ 飯島 康裕 (フジクラ)
RE系高温超電導線材開発と分析・診断装置への応用
- ・ 山田 和彦 (日本大学)
超高感度化¹⁷OMRIを用いた認知症早期診断法の開発
- ・ 関野 正樹 (東京大学)
磁気による生体センシングと神経刺激
- ・ 齋藤 淳史 (電力中央研究所)
培養神経回路網を用いた磁界による刺激応答の評価
- ・ 藪上 信 (東北大学)
医工学における磁気センシング技術
- ・ 樋田 啓 (NTT物性科学基礎研究所)
超伝導量子ビット磁束計による生体スピンセンシング
- ・ 梅村 将就 (横浜市立大学)
交流磁場の持つ抗腫瘍効果のメカニズム解析とがん治療への応用
- ・ 井藤 彰 (名古屋大学)
機能性磁性ナノ粒子を用いたがん温熱療法

※本シンポジウムへの一般講演も募集しております

企画 : 磁気科学研究会, 12.7 医用工学・バイオチップ

世話人: 池添泰弘(日本工業大学), 伊掛浩輝(日本大学), 酒井洸児(NTT物性科学基礎研究所)